

オーディオの基本操作.....	96
オーディオに切り換える.....	96
オーディオの音声を出力したまま ナビゲーション画面(現在地)に 切り換える.....	96
オーディオをOFFにする.....	96
オーディオの種類を選ぶ.....	97
地上デジタルTVを見る.....	98
デジタルテレビ初期設定を行う.....	98
デジタルTVの基本操作.....	100
データ放送を見る.....	101
地上デジタル放送/ワンセグを 切り換える(受信モード).....	102
ホームモード/おでかけモードを 切り換える.....	102
おでかけモードで使用するチャンネル を設定する(おでかけスキャン)...	103
受信可能な放送局一覧を見る.....	103
各種信号を切り換える.....	103
オート放送局サーチを設定する.....	104
郵便番号を設定する.....	104
データサービスの設定をする.....	104
県域を設定する.....	104

B-CASカードの情報を見る.....	105
放送メールを見る.....	105
ソフト情報を見る.....	105
ホームモードで使用するチャンネル を設定する(ホームスキャン).....	105
緊急警報放送(EWS)を見る.....	106
HDD MUSICに録音する.....	107
音楽CDを録音する.....	107
SDメモリーカード内の MP3/WMAデータを録音する...	109
HDD MUSICを再生する.....	110
HDD MUSICの基本操作.....	110
選曲方法を選んで再生する.....	112
HDD MUSICの詳細設定をする.....	113
プレイリストを作成する.....	114
プレイリストの名称を変更する.....	115
プレイリストや「お気に入り」に 曲を追加する.....	115
プレイリストや「お気に入り」の 曲を消去する.....	115
アルバム・曲を消去する.....	115
アルバム・曲の情報を編集する.....	116
本機のGracenote®データベースに ないタイトル情報を取得する.....	118
DVDを再生する.....	122
DVDの基本操作.....	122
DVD初期設定.....	124
CD・MP3/WMAを再生する.....	126

ラジオ(FM/AM)を聞く.....	128
SDオーディオ(SD-Audio)を 再生する.....	129
SDビデオ(SD-Video)を 再生する.....	130
BLUETOOTH Audioを再生する....	131
BLUETOOTH Audio機器を 本機に登録する.....	131
本機とBLUETOOTH Audio機器 を接続する.....	132
BLUETOOTH Audioの基本操作....	133
接続するBLUETOOTH Audio機器 を変更する.....	133
BLUETOOTH Audio機器の 登録データを削除する.....	133
BLUETOOTHパスキーを変更する....	134
iPodを再生する.....	135
iPodを本機に接続する.....	135
iPodの基本操作.....	136
静止画(PHOTO)を再生する.....	137
静止画データを本機に保存する.....	137
静止画を再生する.....	137
PHOTOの基本操作.....	138
フォルダの名称を変更する.....	139
静止画を移動する.....	139
静止画データを消去する.....	139
現在地画面に オーディオ映像を表示する.....	140



オーディオの基本操作

オーディオに切り換える

AUDIO を押す



- オーディオ画面が表示されます。
- もう一度**AUDIO**を押すと、オーディオメニューが表示されます。(P.97)

オーディオの音声を出力したままナビゲーション画面(現在地)に切り換える

オーディオ画面表示中に**現在地**を押す

- ナビゲーションの音声・映像のみ出力したいときは、オーディオをOFFにしてください。(下記)
- オーディオ画面に戻るには、**AUDIO**を押してください。

お知らせ

- ナビゲーションの現在地画面に、オーディオ映像を表示させることができます。(P.140)

オーディオをOFFにする

トップメニュー(P.33)から

AUDIOをOFFするを選ぶ

- オーディオの音声・映像がOFFになります。
- AUDIO**を1秒以上長押ししてもオーディオをOFFにできません。
- ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)は、切り換えることができません。



再度オーディオをONにするには

トップメニュー(P.33)から

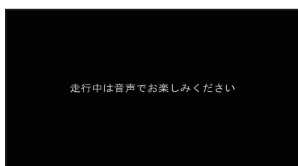
AUDIOをONするを選ぶ



走行中は、デジタルTV*1、DVD*1、SDビデオ*1、VTR*1、PHOTOの映像は表示されません。

安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。

※1 走行中でも、2台目のモニターには映像が出力されます。



画面例

オーディオの種類を選ぶ

オーディオメニューからオーディオを選ぶ



- オーディオ選択タッチキー(P.32)からも選ぶことができます。
- オーディオがSDビデオのときは、PHOTOに切り換えるできません。別のオーディオを選んだから切り換えてください。

お知らせ

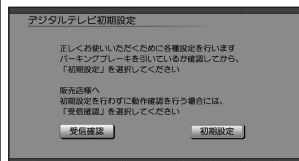
- ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)は、オーディオの種類を切り換えることができません。

デジタルテレビ初期設定を行う

初めてデジタルTVに切り換えたときは、デジタルテレビ初期設定画面(下記)が表示されます。地上デジタル放送をご覧になる前に、必ずデジタルテレビ初期設定をしてください。

1 オーディオ選択タッチキー(P.32)からデジタルTVを選ぶ

- デジタルテレビ初期設定画面が表示されます。



2 初期設定を選ぶ

- 販売店にて初期設定を行わずに動作確認を行う場合には、**受信確認**を選んでください。
- 受信確認中は、**◀▶**で物理チャンネルを変更できます。

郵便番号設定

3 お住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を選ぶ

県域設定

4 お住まいの都道府県を選ぶ

- リモコン操作：
 - 決定** 地域の選択
 - 決定** 都道府県の選択

伊豆、小笠原諸島、南西諸島鹿児島県地域を設定するには

伊豆、小笠原諸島地域

- 1 **沖縄・その他の島部**を選ぶ
- 2 **東京都島部**を選ぶ

南西諸島鹿児島県地域

- 1 **沖縄・その他の島部**を選ぶ
- 2 **鹿児島県島部**を選ぶ

5 次へを選ぶ

ホームモードのチャンネル設定

6 地域を確認して、決定を選ぶ

- 受信可能なチャンネルの検索が完了すると、一覧表が表示されます。
- 地域によっては、検索に時間がかかる場合があります。(約5分)
- ◀▶**：地域の変更

7 各チャンネルの放送局を確認して、決定を選ぶ

- 検索できない放送局があった場合は、初期設定終了後に再スキャン(P.102)を行ってください。



チャンネル番号
(リモコンの数字キーで選局できる番号)

- 同じ系列局で受信できるチャンネル
- 複数ある場合があります。
- ワンセグは青色で表示されます。

チャンネルを修正するには

- 1 **▲▼**でチャンネル番号を選ぶ
- 2 **◀▶**で放送局を選ぶ

B-CASカードテスト

8 miniB-CASカードが正しく入っていることを確認して、テストを選ぶ

- miniB-CASカードについて→P.22

9 テスト結果を確認する

- OK：正常に動作しています。**次へ**を選ぶ
- NG：正常に動作していません。**いいえ**を選ぶ
- どちらの結果が出た場合も、いったん手順10に進んでください。

B-CASカードテスト(続き)

10 終了を選ぶ

B-CASカードテストの結果がNGだった場合は

- 1 **miniB-CASカードを取り出し、正しく挿入しなおす**
→P.22
 - miniB-CASカードは電源が入った状態で抜き差ししないでください。
- 2 **B-CASカードテストを行う**
→P.105
 - それでもNGの場合は、お買い上げの販売店、またはお近くの「サービスご相談窓口」にご相談ください。

これで準備完了です。
地上デジタル放送をご覧になれます。

デジタルテレビ初期設定を変更・再確認するには

デジタルテレビ初期設定画面(P.98)は、一度設定すると、システムの初期化(P.169)をするまで表示されません。引越して受信地域が変わったなどの理由で、デジタルテレビ初期設定の項目を変更したい場合は、下記から設定してください。

- 郵便番号設定
→P.104「郵便番号を設定する」
- 県域設定
→P.104「県域を設定する」
- ホームモードのチャンネル設定
→P.105「ホームモードで使用するチャンネルを設定する(ホームスキャン)」
- B-CASカードテスト
→P.105「B-CASカードの情報をみる」

■ 周波数再編(リパック)について

2011年7月24日の地上アナログ放送終了後から、周波数再編が実施されるためチャンネル周波数が予告なく変更になる場合があります。これまで視聴できたチャンネルが映らなくなった場合は、エリアプリセットを解除(P.103)して、再スキャン(P.105)を行ってください。

デジタルTVの基本操作

デジタルTVを表示中に画面をタッチすると、選局パネル(下記)が表示されます。

- 約10秒間何も操作しないと、選局パネルは自動的に消去されます。



リストからチャンネルを選ぶ

- ひとつの放送局で複数の番組が放送されているときは、同じチャンネルを続けて選ぶと、番組を切り換えることができます。
- 地域によっては、同じチャンネル番号に複数の放送局(枝番号)が登録されることがあります。
例:「NHK総合・大阪」、「NHK総合・京都」が1チャンネルに登録されている場合など
- ひとつの放送局が同じ時間帯に異なる番組を放送している場合でも、チャンネル番号が最も小さいチャンネルしか選べないことがあります。
- リモコンの数字キーで選ぶこともできます。
- ドラッグ/フリックによるスクロールはできません。

番組表を見る



- 拡大/縮小**: 番組表の拡大/縮小
- ▲時間/▼時間**: 時間帯を選ぶ
- 前日/翌日**: 別の日の番組表を見る
- ◀チャンネル/▶チャンネル**: チャンネルを選ぶ
- 選局**: 選局パネルに戻る
- 番組内容**: 番組内容を見る(下記)

- ホーム**(ホームモード)/**おでかけ**(おでかけモード)を表示
- 緑線部分**: 放送時間の短い番組があります。選ぶと番組が表示されます。

- 電源を入れた直後は、番組表が表示されるまで約1分かかる場合があります。
- 受信可能な放送局の番組表が表示されない場合は、その局を選ぶと表示されます。(数分かかることがあります。)
- 地上デジタル放送は8日分まで、ワンセグは10番組まで表示されます。

番組内容を見る



- 内容**: 番組内容画面に切替
- 属性**: 属性画面(詳細な情報)に切替
- 今すぐ見る**: 今放送中の番組の画面に切替(リモコン操作: **戻る**)

お知らせ

- デジタルTV表示中に、リモコンの**戻る**を押しても現在放送中の番組内容を表示できません。

順送りでチャンネルを選ぶ

◀▶を押す

- 1チャンネルずつ切り換わります。

データ放送を見る

1 選局パネル(P.100)から

操作を選ぶ

- カーソルパネル(右記)が表示されます。

2 カーソルパネルから**操作**を選ぶ

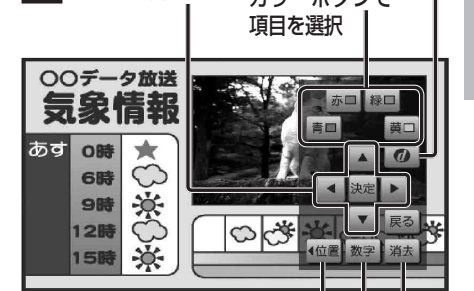
- データ放送が表示されます。
- 情報量が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 再度**操作**を選ぶとデータ放送が消去され、通常の放送に戻ります。

お知らせ

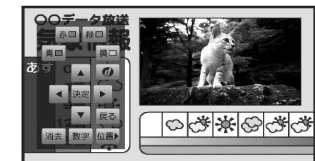
- 双方向データサービスやワンセグのデータ放送には対応していません。

カーソルパネルの操作

◀▶▲▼: 項目の選択
決定: 選んだ項目に決定
カラーボタンで項目を選択



カーソルパネルを移動



- 位置**: もとの位置に戻る

数字パネルに切替



- 操作**: カーソルパネルに戻る

カーソルパネルを消去

- 再度カーソルパネルを表示させるには、選局パネル(P.100)を表示させて、**操作**を選んでください。

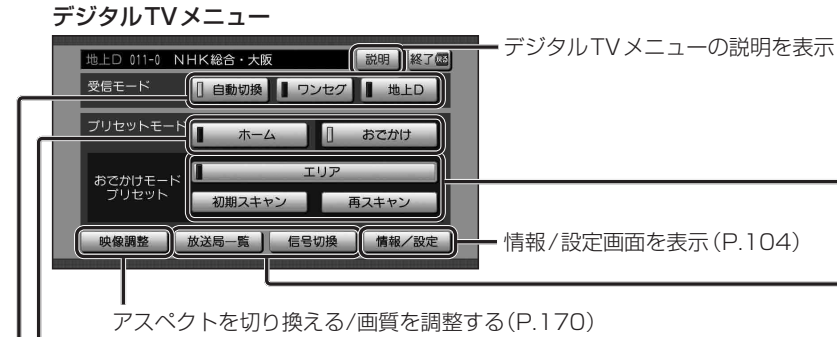
画面キーボードが表示されたら

画面キーボードで文字を入力する



- 文字入力のしかた→P.188
- 本機の画面ではなく、番組独自のキーボードが表示された場合は、データ放送の画面の説明に従ってください。

選局パネル(P.100)から**デジタルTVメニュー**を選ぶと、デジタルTVメニューが表示されます。



地上デジタル放送/ワンセグを切り換える(受信モード)

受信状態が良くないときは、ワンセグに切り換えると、比較的安定した画像を見ることが出来ます。

- 受信状況によっては、切り換え時に数秒間映像が途切れることがあります。
- 放送局によっては、地上デジタル放送とワンセグの番組内容が異なる時間帯があるため、地上デジタル放送/ワンセグを切り換えた際、異なる番組になる場合があります。

自動切換 / ワンセグ / 地上D を選ぶ

- **自動切換** : 受信状態に応じて地上デジタル放送/ワンセグを自動的に切換(お買い上げ時の設定)
・番組のタイトル表示・チャンネル表示に**AUTO**と表示されます。
- **ワンセグ** : 受信状態に関わらずワンセグを受信
- **地上D** : 受信状態に関わらず地上デジタル放送を受信

ホームモード/おでかけモードを切り換える

ホームモード
デジタルテレビ初期設定の「ホームモードのチャンネル設定」(P.98)で設定された、自宅周辺で受信できるチャンネルを選べます。

- デジタルテレビ初期設定後にホームモードの放送局を変更するときは、「ホームスキャン」を行ってください。(P.105)
- ホームモード設定中に**エリア**/**初期スキャン**/**再スキャン**を選ぶ(P.103)と、ホームモードは解除され、おでかけモードに切り換わります。

おでかけモード

ホームモードの放送局が受信できない旅行先などでは、ホームモードとは別に、旅行先で受信できるチャンネルを登録できます。(P.103「おでかけスキャン」)

また、自転車位置に応じて放送局のリストを自動的に切り換えることもできます。(P.103「エリアプリセット」)

ホーム / おでかけ を選ぶ

- **ホーム** : ホームモードに切換
- **おでかけ** : おでかけモードに切換

おでかけモードで使用するチャンネルを設定する(おでかけスキャン)

■ おでかけスキャンについて

- 放送局の系列は、ホームモード時のチャンネル設定に合わせます。
- おでかけモードでは、チャンネルの修正はできません。
- おでかけ初期スキャン/おでかけ再スキャンすると、エリアプリセットは解除されます。

自転車位置に応じて放送局リストを自動で切り換える(エリアプリセット)

■ エリアを選ぶ

- 再度選ぶと解除されます。

放送局リストを上書きしてチャンネルを記憶する(おでかけ初期スキャン)

■ 初期スキャンを選ぶ

- 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。
- スキャン完了後、放送局一覧(下記)が表示されます。(約10秒間)
- デジタルTV画面で**▶▶**を1秒以上押ししても、おでかけ初期スキャンできます。

放送局リストにチャンネルを追加する(おでかけ再スキャン)

■ 再スキャンを選ぶ

- 現在おでかけモードに登録されているチャンネルのほかに、新たに受信できたチャンネルが追加されます。
- 以前おでかけモードに登録されていたチャンネルは残ります。(消去・上書きなどはされません。)
- スキャン完了後、放送局一覧(下記)が表示されます。(約10秒間)
- デジタルTV画面で**◀◀**を1秒以上押ししても、おでかけ再スキャンできます。

受信可能な放送局一覧を見る

■ 放送局一覧を選ぶ

- 本機に設定された受信可能なチャンネルが一覧表示されます。



- ワンセグは青色で表示されます。

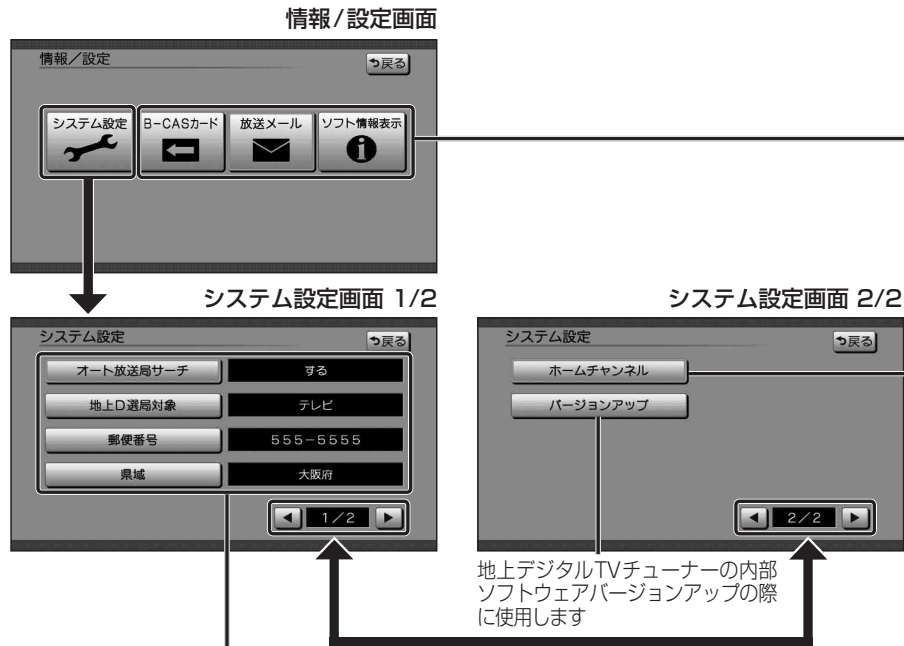
各種信号を切り換える

1 信号切換 を選ぶ

2 各項目を設定する

- **マルチビュー**
マルチビュー放送のときに選択できます。
・マルチビュー放送とは、同一のチャンネルで主番組と副番組の複数映像が送られる放送のことです。
- **映像**
映像が複数あるときに選択できます。
- **音声**
音声複数あるときに選択できます。
- **二重音声**
音声多重放送のときに選択できます。
- **字幕**
字幕言語が複数あるときに選択できます。
- **文字スーパー**
文字スーパーの言語を選択できます。
・文字スーパーとは、視聴者にお知らせしたい情報を、番組放送中の画面上に文字で表示させたものです。

デジタルTVメニュー(P.102)から**情報/設定**を選ぶと、情報/設定画面が表示されます。



オート放送局サーチを設定する

「する」に設定すると、移動などで受信状態が悪くなった場合に、自動的に受信状態の良い中継局、または同じ系列の放送局に切り換えます。

- 1 **オート放送局サーチ**を選ぶ
- 2 **する / しない**を選ぶ
 - **する** : オート放送局サーチする (お買い上げ時の設定)
 - **しない** : オート放送局サーチしない

お知らせ
● 県境を越えて移動した場合など、オート放送局サーチ設定中でも放送局を切り換えられない場合があります。そのときは、手動で選局してください。(P.100「リストからチャンネルを選ぶ」)

郵便番号を設定する

- 1 **郵便番号**を選ぶ
- 2 お住まいの地域の郵便番号を入力し、**決定**を選ぶ

データサービスの設定をする

テレビサービスのみを選局するか、テレビサービスと独立データサービスの両方を選局するかを設定します。

- 1 **地上D選局対象**を選ぶ
- 2 **選局対象**を選ぶ
 - **テレビ** : テレビサービスのみ選局 (お買い上げ時の設定)
 - **テレビ/データ** : テレビサービスと独立データサービスを選局

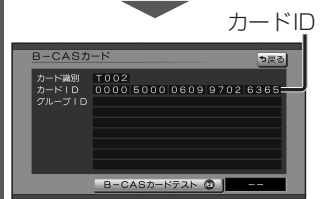
お知らせ
● 「テレビ」に設定したときは、番組表もテレビサービスのみ表示されます。
● 「地上D選局対象」を設定できるのは、地上デジタル放送のみです。ワンセグに対しては設定できません。

県域を設定する

- 1 **県域**を選ぶ
- 2 P.98「デジタルテレビ初期設定を行う」手順4と同じ操作で都道府県を選ぶ

B-CASカードの情報を見る

- 1 **B-CASカード**を選ぶ
 - カードの情報が表示されます。



- カードID (B-CASカード番号) は、お問い合わせの際に必要な場合があります。忘れないようにメモをしておいてください。
- **B-CASカードテスト** : B-CASカードテストを開始

放送メールを見る

- 1 **放送メール**を選ぶ
 - 放送メールの一覧が表示されます。(最大31件)
- 2 **確認したいメール**を選ぶ

ソフト情報を見る

- 1 **ソフト情報表示**を選ぶ
- 2 **情報を確認する**
 - **文章1**、**文章2**、**文章3**を選ぶと、ソフト情報が切り換わります。

ホームモードで使用するチャンネルを設定する (ホームスキャン)

準備 ● ホームモードに切り換えてください。(P.102)

放送局リストを上書きしてチャンネルを記憶する (初期スキャン)

引越しなどで受信地域が変わり、ホームモードを再設定するときに行ってください。

- 1 **ホームチャンネル**を選ぶ
 - 設定方法選択画面が表示されます。
- 2 **初期スキャン**を選ぶ
- 3 **決定**を選ぶ
 - 現在受信できるチャンネルが検索され、以前のリストに上書きされます。
- 4 画面で内容を確認し、**決定**を選ぶ
 - チャンネルを修正するには →P.98 手順7

放送局リストにチャンネルを追加する (再スキャン)

自宅付近に新しく開設された放送局や、自宅に隣接した地域で受信できる放送局を追加するときなどに行ってください。

- 1 **ホームチャンネル**を選ぶ
- 2 **再スキャン**を選ぶ
 - 現在ホームモードに登録されているチャンネルのほかに、新たに受信できたチャンネルが追加されます。
 - 以前ホームモードに登録されていたチャンネルは残ります。(消去・上書きなどはされません。)
- 3 画面で内容を確認し、**決定**を選ぶ
 - チャンネルを修正するには →P.98 手順7

設定したチャンネルを修正する

- 1 設定方法選択画面 (上記) から **マニュアル** を選ぶ
- 2 **チャンネルを修正する** →P.98 手順7
- 3 **決定** を選ぶ

緊急警報放送(EWS)を見る

■緊急警報放送(EWS)とは
大規模災害など緊急な出来事が発生した場合に、緊急警報放送を放送局より送信して、視聴者にいち早く情報を知らせる放送システムです。EWSは緊急警報放送システム(Emergency Warning System)の略です。

緊急警報放送(EWS)を受信したら自動的に緊急警報放送に切り換わります。

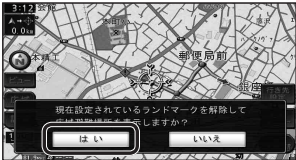


- 緊急警報放送が終了しても、そのままデジタルTV画面が表示されます。(もとのオーディオには戻りません。もとに戻すには、手動で切り換えてください。)
- 視聴中のデジタルTVのチャンネル以外で緊急警報放送を開始しても、自動的に切り換わりません。
- 走行中、緊急警報放送は表示できません。車を安全な場所に停車し、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- 下記の場合、緊急警報放送に切り換わりません。
 - ・オーディオがSDビデオのとき
 - ・ハンズフリー通信中(発着信中、通話中)

■ナビゲーション連動について
緊急警報放送中に現在地画面に切り換えると、自車から最寄の広域避難場所を検索できます。

- 広域避難場所について→P.203


自車周辺の広域避難場所を探す

- 1 緊急放送を表示中に「**現在地**」を押す
 - 現在地画面が表示されます。
- 2 **はい**を選ぶ
 
 - 広域避難場所を検索し、自車から最寄の広域避難場所の地図が表示されます。
 - 広域避難場所を表示させると、設定しているランドマークが解除されます。再度表示させるには、ランドマークの設定をしてください。(P.38)
- 3 **広域避難場所を確認する**

音楽CDを録音する

音楽CDの録音に関する設定

自動録音(CDダイレクト録音)/手動録音を設定する(デジタル録音モード)

- 1 **オーディオ選択タッチキー(P.32)からCD**を選ぶ
- 2 **設定**を選ぶ
 - CD設定画面が表示されます。
- 3 **AUTO/SELECT**を選ぶ
 
 - AUTO**：
本機に録音していない曲を、自動的に全て録音する(CDダイレクト録音)(お買い上げ時の設定)
 - SELECT**：
曲を選んで録音する(手動録音)


録音音質設定画面の自動表示する/しないを設定する(録音音質設定自動表示)

CD設定画面(上記)から**する/しない**を選ぶ



- する**：
CDを入れるたびに録音音質設定画面(P.108)を表示し、録音音質を確認・変更する(お買い上げ時の設定)
- しない**：
CD挿入時に、録音音質設定画面を表示しない
 - ・録音音質を変更するには→右記

録音音質を設定する(録音・音質設定)

- 1 **オーディオ選択タッチキー(P.32)からHDD MUSIC**を選ぶ
- 2 **設定**を選ぶ
- 3 **詳細設定**を選ぶ
- 4 **<>**で音質を選ぶ
 

設定	データ形式	音質	録音曲数(目安)
CD音質	LPCM(非圧縮)	高	約800曲
256 kbps	AAC(圧縮)	↑ ↓	約3700曲
192 kbps			約5000曲
128 kbps			最大7500曲
96 kbps			

(お買い上げ時の設定：256 kbps)

お知らせ

- CD録音中や曲調解析中は変更できません。
- 録音済みの曲は、録音の音質を変更しても、重複して録音できません。
- 録音された曲には、HDD MUSIC再生画面などで録音音質が表示されます。



- 録音音質設定自動表示(左記)が「する」の場合、CDを入れるたびに録音音質を確認・変更できます。

音楽CDを録音する(続き)

録音する

準備

- 音楽CDの録音に関する設定→P.107

1 音楽CDを入れる(P.30)

2 録音音質設定自動表示(P.107)を「する」に設定時のみ、録音音質設定画面が表示されます。



(録音音質設定画面)

<>で録音音質を選び、確認を選ぶ

- 録音音質について→P.107
- 下記の場合、自動的に録音音質設定画面は消去されます。
 - ・約6秒間何も操作をしなかった。
 - ・<>を選んだが、確認を選ばなかった。
(消去までの時間は、録音曲により異なります。)
- 早送り/早戻し、頭出しをすると、録音音質設定画面は消去されます。

3 デジタル録音モード(P.107)を「AUTO」に設定している場合(CDダイレクト録音)

自動的に録音を開始します。

録音を中止するには

CD設定画面(P.107)から
SELECTを選ぶ

デジタル録音モード(P.107)を「SELECT」に設定している場合(手動録音)

1 CD再生画面(P.126)から
録音を選ぶ

2 リストから曲を選び、完了を選ぶ



- 複数の曲を選ぶこともできます。
(再度選ぶと解除されます。)
- **全選択**: 全曲を選択
- **全解除**: 選んだ曲を全て解除

録音を中止するには

CD再生画面(P.126)から
録音中止を選ぶ

録音中のCD再生画面の見かた



例: 録音音質 256 kbps で録音時

- **REC 256kbps** (赤): 録音中
- **REC 256kbps** (灰): 録音準備中
- **WAIT** ※1: 録音データ解析中のため、録音一時停止中

表示なし: 録音していない

※1 本機では、CD録音後に録音データの曲調解析を行います。そのため連続でCDを録音する場合、解析状況により **WAIT** と表示され、録音を一時停止することがあります。解析状況を確認してください。(P.111)

■ 音楽CDの録音について

- 約3倍速から最大約7倍速で録音されます。本機の動作状態に応じて、速度は自動で切り換わります。
- 音楽CDの曲は、録音音質の設定(P.107、108)により、AACに変換、またはLPCMとして、HDDに保存されます。
- アルバム/曲の情報は、Gracenoteデータベースから検索したタイトルが保存されます。Gracenoteデータベースにないタイトル情報は、Gracenoteサーバーにアクセスして取得できます。(P.118)
- CD-TEXT情報のある音楽CDを録音しても、CD-TEXT情報はタイトル情報として保存されません。
- CD-R/RWに録音されたMP3/WMAファイルは、本機に保存(録音)できません。
- 保存(録音)した音楽データは、著作権保護のため、バックアップを取ることはできません。
- 録音された音楽データが正しく再生されない(音飛びする)場合などは、いったん音楽データを消去(P.115)してから、再度録音してください。
- 録音に関する制限事項については、P.194をご覧ください。
- 地図上にも録音状態(例: **REC 256kbps**)が表示されます。

SDメモリーカード内のMP3/WMAデータを録音する

準備

- パソコンでSDメモリーカード内にフォルダを作り、その中にMP3/WMAファイルを保存してください。
- SDメモリーカードの直下(ルートフォルダ)に保存しても、本機に保存できません。

1 データメニュー(P.33)から

SD読み込み/保存を選ぶ

- SDメモリーカード読み込み/保存画面が表示されます。

2 SDメモリーカードから読み込むを選ぶ

3 音楽データを選ぶ

4 保存するフォルダを選ぶ



- **フォルダ** を選ぶと、下の階層が表示されます。
- 下の階層で **フォルダ** を選ぶと、上の階層が表示されます。

5 はいを選ぶ

6 確認を選ぶ

- 選んだフォルダと、その直下の階層のMP3/WMAファイルが本機に保存されます。(数分かかる場合があります。)
- 保存中にACCをOFFにすると、正常に保存できません。保存された音楽データを消去し、保存しなおしてください。

お知らせ

- SDオーディオフォーマットに準拠したMP3は保存できません。
- 本機に保存した音楽データを、他の機器などに移動、コピーできません。マスターの音楽データは、パソコンに保存することをお奨めします。
- 音楽データの形式(曲名・アルバム名の付与のされかたなど)について→P.191

HDD MUSICの基本操作

HDD MUSIC再生画面



選局方法を選んで再生する(P.112)

曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

- ランダム再生(右記)時に◀▶を選んでも、再生中の曲しか頭出しできません。

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

再生中の曲のリストを表示する

再生中リストを選ぶ

条件を選んで再生する (リピート/ランダム/スキャン)

1 設定を選ぶ

2 再生する条件を選ぶ

- 条件は選曲方法によって異なります。
- 条件はひとつしか選べません。

繰り返し再生(リピート)

- すべて：全曲
- 1 曲：再生中の曲
- アルバム：再生中のアルバム内の全曲
- プレイリスト：再生中のプレイリスト内の全曲

順不同に再生(ランダム)

- すべて：全曲
- アルバム：再生中のアルバム内の全曲
- プレイリスト：再生中のプレイリスト内の全曲
- 選曲方法(P.112)がフィーリングリンク・カテゴリ再生の場合、ランダム再生できません。

曲を探す(スキャン)

- アルバム：再生中のアルバム内の全曲
- プレイリスト：再生中のプレイリスト内の全曲
- 各曲のサビ部分を再生します。(サビスキャン)
- 再生時間の設定→P.113
- サビ部分は曲調解析により決定されます。サビ以外の部分が再生される場合もあります。
- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは、曲の先頭から再生されます。

再生中の曲を 「お気に入り」に登録する

お気に入りに登録を選ぶ

- 最大99曲登録できます。
- 複数の曲を選んで「お気に入りに」を追加することもできます。(P.115)

録音データの曲調解析の状況を確認する (録音データ解析中のみ)

解析状況を選ぶ

- 曲調解析が終了すると、本機で録音データを再生できます。
- 解析中の録音データがCD3枚分表示されているときは、CD録音することはできません。CD1枚分の空きができるまでお待ちください。

■ 曲調解析について

音楽CDから本機のHDDに曲を録音する際、その曲の最も盛り上がっているサビ部分から、テンポ、リズム、ビートなどの特徴を抽出し、曲の印象を自動的に解析します。(曲調解析)
曲調解析には、ミュージックソムリエ技術^{※1}を使用しています。

- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは曲調解析されません。
- お客様の主観とは異なった曲が選ばれる場合もあります。
- 解析結果は編集できません。

※1 ミュージックソムリエ技術とは、ワインを選ぶソムリエのように、そのときのフィーリングに合った曲を選べる音楽選曲インタフェース技術です。



選曲方法を選んで再生する

HDD MUSIC再生画面(P.110)から**選曲する**を選ぶと、選曲画面が表示されます。



曲の雰囲気
絞り込んで再生する

- 1 **カテゴリ**を選ぶ
- 2 条件 **楽しい/癒される/にぎやか/切ない**を選ぶ

お知らせ

- 曲調解析(P.111)の結果によって絞り込みます。
- 以下の音楽データは、選曲対象になりません。
 - ・SDメモリーカードから読み込んだ
 - ・「カテゴリ再生で選曲」(P.116)が「しない」に設定されている

再生中の曲に
似た雰囲気の曲を探す

フィーリングリンクを選ぶ

- 曲調解析(P.111)の結果から、再生中の曲と似た雰囲気(フィーリング)の曲が選ばれ、再生されます。(最大10曲)
- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データを再生中は、フィーリングリンク再生できません。また、選曲対象にもなりません。

再生回数の多い曲を
再生する

TOP 25を選ぶ

- HDD MUSICで再生回数の多い順に、上位25曲を再生します。

お知らせ

- 再生回数と同じ場合は、録音が古い曲を優先して登録、再生します。
- 再生回数は曲の4割を再生した場合に1回の再生と数えます。
[サビスキャン(P.110)、ちょい聴き(P.114)での再生は除く]
- 再生回数を編集することはできません。
- TOP25再生中は、再生順は更新されません。(次回**TOP 25**を選んだときに更新されます。)
- 録音曲が少ない場合は、再生回数が0回の曲も再生されます。

お気に入りに登録した曲を再生する

準備

- お気に入りに曲を登録してください。(P.111、115)

お気に入りを選ぶ

再生中リストから選ぶ

- 1 **再生中リスト**を選ぶ
- 2 **曲**を選ぶ

アルバム/アーティスト/
プレイリスト/ジャンルから探す

準備

- プレイリスト再生の場合は、プレイリストを作成してください。(P.114)

1 **アルバム/アーティスト/
プレイリスト/ジャンル**を選ぶ

2 再生したい項目の**再生▶**を選ぶ

例: ジャンル

選ぶと、項目の先頭から再生



選ぶと、下の階層を表示

- 曲リストが表示されたら、曲を選んで再生します。
- アルバム再生の場合: 録音日の新しい順にリスト表示されます。
- ジャンル再生の場合: SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは、「その他」のジャンルに設定されます。

HDD MUSICの詳細設定をする

- 1 HDD MUSIC再生画面(P.110)から**設定**を選ぶ
- 2 **詳細設定**を選ぶ
- 3 各項目を設定する



HDDの録音使用領域

曲間効果(クロスフェード)

前の曲の最後と次の曲の最初の部分を重ね合わせて(クロスフェード)、スムーズに曲を再生します。

- **する/しない**を選ぶ
(お買い上げ時の設定: **する**)

録音曲再生レベル自動調整

録音したCDの音が小さい場合に、音量を大きく調整して再生します。

- **する/しない**を選ぶ
(お買い上げ時の設定: **する**)
- 録音するCDに記録されている音が大きい場合には、小さく調整されません。
- SDメモリーカードから読み込んだ音楽データは調整されません。

サビスキャンの再生時間

サビスキャン(P.110)の再生時間を設定します。

<>で調整する

- 調整範囲: **20秒**~60秒
(**太字**: お買い上げ時の設定)
- サビの開始が曲の終わり近くの場合は、サビスキャンは設定した時間より短くなります。

録音・音質設定

→P.107「録音音質を設定する(録音・音質設定)」手順4へ

プレイリストを作成する

HDDに保存した曲の中から、目的に合わせて最大98のプレイリスト(ひとつのプレイリストあたり最大99曲)を作成できます。

1 HDD MUSIC再生画面(P.110)から設定を選ぶ

- HDD MUSIC設定画面が表示されます。



2 プレイリストの編集を選ぶ

- プレイリスト編集画面が表示されます。

3 新規作成を選ぶ

4 表示するリストを選ぶ

- **アーティスト順** : アーティスト名をリスト表示
- **新しい順** : アルバムを録音日の新しい順にリスト表示
- **ジャンル順** : ジャンルをリスト表示

5 登録したい曲を選ぶ

- 曲を選ぶごとに登録候補として追加されます。

例: 新しい順



選ぶと、下の階層を表示
● 曲リストが表示されたら、曲を選んで登録候補に追加します。

サビを試聴(ちよい聴き)

選ぶと、項目の全曲を登録候補に追加

6 確認を選ぶ

- 他にもプレイリストに登録したい曲がある場合は、**戻る**で手順4まで戻って曲を追加してください。

7 登録候補を確認して、登録を選ぶ

曲を登録候補から解除するには

全曲解除する

1 全解除を選ぶ

2 はいを選ぶ

曲を選んで解除する

1 曲を選ぶ

2 はいを選ぶ

8 プレイリスト名を入力して、

完了を選ぶ

- 全角16文字(半角32文字)まで
- 文字入力のしかた→P.188
- 名称を変更しないで**完了**を選ぶと、プレイリストを作成した年・月・日・時間が自動的に付与されます。
例: マイベスト2012.03.01/0903

プレイリストの名称を変更する

「お気に入り」の名称は変更できません。

1 HDD MUSIC設定画面(P.114)から名称の編集を選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

3 プレイリストを選ぶ

4 名称を入力して、完了を選ぶ

- 全角16文字(半角32文字)まで
- 文字入力のしかた→P.188

プレイリストや「お気に入り」に曲を追加する

1 プレイリスト編集画面(P.114)からトラックを追加を選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

3 P.114「プレイリストを作成する」手順4~7と同じ操作で曲を追加する

プレイリストや「お気に入り」の曲を消去する

プレイリストや「お気に入り」から曲を消去しても、アルバムからは消去されません。

1 HDD MUSIC設定画面(P.114)から消去を選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

3 プレイリストを選び、消去を選ぶ

- 複数のプレイリストを選ぶこともできます。(再度選ぶと解除されます。)
- **全選択** : 全プレイリストを選択
- を選ぶと、プレイリスト内の曲リストが表示され、曲単位で消去できます。
 - ・すでにプレイリストを選んでいる場合、この操作はできません。
 - ・プレイリスト内の全曲を選ぶと、そのプレイリストも消去されます。

4 はいを選ぶ

お知らせ

- CD録音中および曲調解析中は消去できません。

アルバム・曲を消去する

- 一度消去するともとに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。
- 消去中はエンジンを切らないでください。本機が正しく動作しなくなる場合があります。

1 HDD MUSIC設定画面(P.114)から消去を選ぶ

2 表示するリストを選ぶ

- **アーティスト順** : アーティスト名をリスト表示
- **新しい順** : アルバムを新しい順にリスト表示
- **ジャンル順** : ジャンルをリスト表示
- **全消去** : 本機に登録した音楽データを全て消去(手順4へ)

3 消去したい項目を選び、消去を選ぶ

- 複数の項目を選ぶこともできます。(再度選ぶと解除されます。)
- **全選択** : 現在検索したリスト内の項目を全て選択
- を選ぶと、下の階層を表示します。
 - ・すでに項目を選んでいる場合、この操作はできません。

4 はいを選ぶ

お知らせ

- 消去した曲がプレイリスト(P.114)や「お気に入り」(P.111、115)に登録されている場合は、プレイリストや「お気に入り」からも消去されます。
- CD録音中および曲調解析中は消去できません。

アルバム・曲の情報を編集する

1 HDD MUSIC設定画面(P.114)から
名称の編集を選ぶ

2 アルバムを探す

アーティスト名から探す

1 アーティスト順を選ぶ

2 アーティストを選ぶ

アルバムから探す

新しい順を選ぶ

●アルバムを録音日の新しい順
にリスト表示します。

ジャンルから探す

1 ジャンル順を選ぶ

2 ジャンルを選ぶ

3 アルバムの情報を編集する場合

アルバムを選ぶ→右記へ

●アルバム編集画面が表示されます。



曲の情報を編集する場合

1 トラックを選ぶ

2 曲を選ぶ→右記へ

●トラック編集画面が表示されます。



●次ページ:
音楽ソースと録音日を表示

アルバムの情報を編集する

項目	操作		
アルバム アルバム名を変更する。	編集 を選ぶ	アルバム名を入力し、 完了 を選ぶ ●全角16文字(半角32文字)まで	完了 を選ぶ
アーティスト アーティスト名を変更する。	編集 を選ぶ	マニュアル入力する を選ぶ	アーティスト名を入力し、 完了 を選ぶ ●全角16文字(半角32文字)まで
		リストから選択する を選ぶ	リストから アーティストを選ぶ
読み アーティスト名の読みを変更する。	編集 を選ぶ	アーティスト名の読みを入力し、 完了 を選ぶ ●半角32文字まで	完了 を選ぶ
ジャンル アルバムのジャンルを変更する。	編集 を選ぶ	アルバムのジャンルを選ぶ	完了 を選ぶ
カテゴリ再生で選曲 カテゴリ再生(P.112)で、選曲の対 象にする/しないを設定する。	する/しないを選ぶ		完了 を選ぶ
データベース Gracenoteデータベースを使って、 タイトル情報を取得する。 ●SDメモリーカードから読み込んだ 音楽データのタイトル情報は取得で きません。	内蔵データベース検索 を選ぶ	(複数の候補がある場合のみ) リストからアルバム名を選ぶ	登録を 選ぶ
	オンライン検索 → P.121「オンラインでタイトル情報を取得する」手順3へ		完了 を選ぶ

曲の情報を編集する

項目	操作		
トラック 曲名を変更する。	編集 を選ぶ	曲名を入力し、 完了 を選ぶ ●全角16文字(半角32文字)まで	完了 を選ぶ
アーティスト アーティスト名を変更する。	編集 を選ぶ	マニュアル入力する を選ぶ	アーティスト名を入力し、 完了 を選ぶ ●全角16文字(半角32文字)まで
		リストから選択する を選ぶ	リストからアーティストを選ぶ
アーティスト読み アーティスト名の読みを変更する。	編集 を選ぶ	アーティスト名の読みを入力し、 完了 を選ぶ ●半角32文字まで	完了 を選ぶ
愛称読み アーティストの愛称を変更する。	編集 を選ぶ	アーティストの愛称の読みを 入力し、 完了 を選ぶ ●半角32文字まで	変更を反映する範囲を選ぶ ●全トラックに反映: アルバム内の全曲に反映 ●編集中のトラックのみ: 編集中の曲のみに反映
ジャンル 曲のジャンルを変更する。	編集 を選ぶ	曲のジャンルを選ぶ	完了 を選ぶ

お知らせ

●手動で編集したアルバム・曲の情報は、
Gracenoteデータベースには反映されま
せん。

本機のGracenote®データベースにないタイトル情報を取得する

新譜などGracenoteデータベースにないタイトルの情報を、Gracenoteサーバーにアクセスして取得できます。

ご利用までの流れ



タイトル検索ソフトをパソコンにインストールする

■タイトル検索ソフトの動作環境

- OS:
Windows® 98 SE/Windows® Me/
Windows® 2000 Professional
Service Pack 4/Windows® XP(Home/
Professional) Service Pack 2/
Windows Vista®(Ultimate/Business/
Home Basic/Home Premium)/
Windows® 7(Ultimate/Professional/
Home Premium)
- CPU:
Intel MMX Pentium 266 MHz以上
(推奨Pentium II 300 MHz以上)
- メモリ:
64 MB以上(推奨128 MB以上)
- HDD:
200 MB以上の空き容量
- インターネット接続環境:
推奨64 kbps以上
- ディスプレイ/ビデオボード:
解像度 推奨800×600ピクセル
表示色 推奨65000色以上
- その他:
SDメモリーカードリーダー/ライターと、
空き容量が4 MB以上のSDメモリー
カードが別途必要です。

お知らせ

- タイトル検索ソフトは、必ず本機のPCツール出力(P.119)で保存されるTitleFinderVer2.exeを使用してください。
- タイトル検索ソフトについては、PCツール出力(P.119)時に保存されるテキストファイル(README.TXT)も併せてご覧ください。

タイトル検索ソフトをパソコンにインストールする(続き)

準備

- SDメモリーカードを本機に入れてください。(P.31)

- 1 本機での操作**
データメニュー(P.33)から
SD読み/保存を選ぶ
●SDメモリーカード読み込み/保存画面が表示されます。
- 2 SDメモリーカードへ保存する**を選ぶ
- 3 PCツール出力**を選ぶ
●SDメモリーカードに、タイトル検索ソフト(TitleFinderVer2.exe)と管理情報(Regist.dat)、テキストファイル(README.TXT)が保存されます。
出力先フォルダ:
PRIVATE¥CustomUDT
- 4 SDメモリーカードを本機から取り出す**
- 5 パソコンでの操作**
取り出したSDメモリーカードをパソコンに入れ、パソコン内の**任意のフォルダにコピーする**
●タイトル検索ソフト(TitleFinderVer2.exe)と管理情報(Regist.dat)は、必ず同じフォルダに保存してください。
●初めて利用する場合は、管理者(Administratorsのメンバー)としてWindowsにログオンしてください。(Windows Vista®/Windows® 7では管理者権限がなくても利用可能です。)
- 6 コピーしたタイトル検索ソフトのアイコンをダブルクリックする**
●タイトル検索ソフトが起動します。
- 7 「接続設定」を選ぶ**

- 8 Internet Explorerをお使いの場合**
「Internet Explorerの設定を使用する」にチェックする

Internet Explorer以外のブラウザをお使いの場合
「Internet Explorerの設定を使用する」のチェックを解除し、**各種項目を設定する**
●**「LAN接続を使用」**
LAN接続の場合にチェックします。
●**「ダイヤルアップ接続を使用」**
ダイヤルアップ接続の場合にチェックし、接続先を選んでください。
・**「タイトル取得の完了時に回線を自動で切断」**
タイトル取得完了時に、自動的に回線を切断する場合にチェックします。
●**「プロキシサーバーを使用」**
プロキシサーバーを使用する場合にチェックし、サーバーのアドレスとポート番号を入力してください。
●インターネット接続設定の詳細については、ご契約のプロバイダにお問い合わせください。

9 「設定」を選ぶ

本機のGracenote®データベースにないタイトル情報を取得する(続き)

Gracenoteサーバーからタイトル情報を取得する

準備

- タイトル検索ソフトをパソコンにインストールしてください。(P.118、119)
- SDメモリーカードを本機に入れてください。(P.31)

本機に保存されている音楽データの
タイトル情報をSDメモリーカードに書き出す

- 本機での操作**
SDメモリーカード読み込み/保存画面(P.119)から**SDメモリーカードへ保存する**を選ぶ
- 録音曲タイトル取得**を選ぶ
●PCツール(P.119)を一度も出力していない場合は、出力確認画面が表示されます。**確認**を選んでください。PCツールがSDメモリーカードに保存されます。
- タイトル情報を取得したいアルバムを選び、完了**を選ぶ
●複数のアルバムを選ぶこともできます。(再度選ぶと解除されます)
●**タイトル無し全選択**:
タイトルが付与されていないアルバムを全て選択
●**全て解除**:
選んだアルバムを全て解除
- はい**を選ぶ
●SDメモリーカードに、取得するための情報が保存されます。
・ファイル名: export.dat
・出力先フォルダ:
PRIVATE¥CustomUDT
- SDメモリーカードを本機から取り出す**

Gracenoteサーバーにアクセスして
タイトル情報を取得する

- パソコンでの操作**
取り出したSDメモリーカードをパソコンに入れる
- パソコンのタイトル検索ソフトを起動し、「参照」**を選ぶ
- SDメモリーカードに保存した「export.dat」**を選び、「開く」を選ぶ
- 「Fileからデータベース検索」**を選ぶ
●モデム接続の場合は、ダイヤルアップ接続の確認画面が表示されます。接続先、ユーザー名、パスワードを入力してください。
- (複数の候補がある場合のみ)
アルバム名を選び、「選択」を選ぶ
- ダウンロードが完了したら「保存」**を選ぶ
●「export.dat」と同じ階層に、取得したタイトル情報が保存されます。(ファイル名: import.dat)
●必ずSDメモリーカードの「PRIVATE¥CustomUDT」フォルダに保存してください。
●「export.dat」ファイルを取得したナビゲーションに「import.dat」ファイルを保存してください。(下記)他のナビゲーションに保存しても、利用できません。
- SDメモリーカードをパソコンから取り出す**

取得したタイトル情報を本機に保存する

- 本機での操作**
取り出したSDメモリーカードを本機に入れる
- SDメモリーカード読み込み/保存画面(P.119)からSDメモリーカードから読み込む**を選ぶ
- Gracenoteデータベース更新**を選ぶ
- はい**を選ぶ
●Gracenoteデータベースが更新され、自動的にタイトル情報が付与されます。

CDからタイトル情報を取得する

パソコンにインストールしたタイトル検索ソフトを使って、お持ちのCDからタイトル情報を取得できます。取得したタイトル情報を本機に保存すると、CDを録音する際、タイトル情報を付与できます。

準備

- タイトル検索ソフトをパソコンにインストールしてください。(P.118、119)

- パソコンでの操作**
SDメモリーカードをパソコンに入れる
- タイトル情報を取得したいCDをパソコンに入れる**
- パソコンのタイトル検索ソフトを起動する**
- CDを入れたドライブ**を選ぶ
- 「CDからデータベース検索」**を選ぶ
(複数の候補がある場合のみ)
- アルバム名を選び、「選択」**を選ぶ
- ダウンロードが完了したら「保存」**を選ぶ
- タイトル情報の保存先を選び、「OK」**を選ぶ
●必ずSDメモリーカードの「PRIVATE¥CustomUDT」フォルダに保存してください。
- 本機での操作**
取得したタイトル情報を本機に保存する(P.120 手順13~16)

オンラインでタイトル情報を取得する

携帯電話を使って、インターネット経由でタイトル情報を付与することができます。(オンライン検索)

準備

- データ通信に必要な登録・設定をしてください。(P.143)
- 携帯電話をダイヤルアップ接続待機状態にしてください。

- 情報を取得したいアルバムのアルバム編集画面を表示する**(P.116)
- オンライン検索**を選ぶ
- 接続する**を選ぶ
●インターネットに接続し、タイトル検索が開始されます。
- (複数の候補がある場合のみ)
リストからアルバム名を選ぶ
- 登録**を選ぶ
- 完了**を選ぶ

DVDの基本操作

本編再生中に画面をタッチすると、タッチキーが表示されます。



DVD-Video再生画面

現在の音声方式とチャンネル数
タイトル番号/チャプター番号

● DVD-VRは、DVD-Videoとタッチキーが一部異なります。(P.123)

DVD-VRの場合、下記の操作もできます。



DVD-VR再生画面

音声の切換

音声→音声切換を選ぶ

- [DVD-Video]: 選ぶごとに音声言語が切り換わります。
- [DVD-VR]: 選ぶごとに音声出力が切り換わります。
L,R:主音声→L,R:副音声
↑L:主音声,R:副音声

字幕の切換/消去

字幕の切換 [DVD-Video]

字幕→字幕切換を選ぶ

- 選ぶごとに字幕言語が切り換わります。
- 字幕の表示に時間がかかる場合があります。

字幕の消去

字幕→字幕消を選ぶ

- 再度選ぶと字幕が表示されます。

アングルの切換 [DVD-Video]

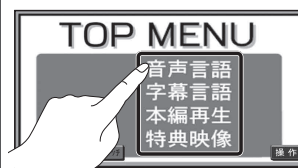
アングル→アングル切換を選ぶ

- 選ぶごとにアングルが切り換わります。
- マルチアングルマークを表示「する」に設定する(P.124)と、アングル切換が可能になるときに [戻る] が表示されます。

トップメニュー/タイトルメニューから項目を選ぶ [DVD-Video]

1 トップメニュー/タイトルメニューを選ぶ

2 項目をタッチして選ぶ



- 内容は、ディスクによって異なります。
- どの項目を選んだかを本機が判別できない場合は、画面がズームアップされます。再度項目を選んでください。
・ [戻る] を選ぶと画面がもとに戻ります。

項目が選びにくい場合は

- 1 タッチキー(P.122)から [戻る] を選ぶ
● ダイレクトタッチメニューが表示されます。
- 2 **ダイレクトタッチ**を選び、
[戻る] を表示させる
- 3 [↑][↓][←][→]で項目を選び、**決定**を選ぶ



- [↑]移動 [↓]移動: ダイレクトタッチメニューの位置を切り換える
- **ダイレクトタッチ**: ダイレクトタッチON/OFFを切り換える
- **操作**: タッチキーに戻る

ダイレクトタッチメニューを表示(P.123) [DVD-Video]



タイトルを選んで再生する

- 1 **サーチ**を選ぶ
- 2 再生したいタイトル番号を入力して**完了**を選ぶ
● **修正**: 1文字削除

DVD設定画面を表示(P.124)

タッチキーを消去

ディスクの決められた位置から再生(リモコン操作: [戻る])

[早送り] [早戻し] 早送り・早戻し/スロー再生

早送り・早戻し

[早送り] [早戻し] をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。
- リモコン操作: [早送り] [早戻し] 押し続ける

スロー再生

一時停止中に [早送り] をタッチし続ける

- [早送り] を選ぶと通常の再生に戻ります。
- リモコン操作: 一時停止中に [早送り] を押し続ける

[一時停止] 一時停止

[再生] 再生

[停止] 停止

[早送り] [早戻し] チャプターを頭出し

プログラム・プレイリストの頭出し [DVD-VR]



プログラムの再生 [DVD-VR]

プレイリストの再生 [DVD-VR]

- プレイリストを解除するには、**プログラム**を選んでください。

次の静止画に切換 [DVD-VR]

オーディオ
DVDを再生する

■ 音声言語/字幕言語/アングルについて

- トップメニュー(左記)やDVD初期設定画面(P.124)からでない限り切り換えられない場合があります。
- 電源を入れたときやディスクを入れ換えたときの音声言語や字幕言語は、DVD初期設定(P.124)が優先されます。
- 音声言語/字幕言語/アングルの数は、ディスクによって異なります。詳しくはディスクの説明書をご覧ください。

お知らせ

- DVDの種類により、ディスク挿入後にトップメニュー/タイトルメニューが表示され、自動でダイレクトタッチメニューが表示される場合があります。そのときは、**操作**を選んでタッチキーを表示させてください。
- DVDでは、フォーマットが識別される少しの間、音声・映像がとぎれることがあります。

DVD初期設定

1 画面をタッチしてタッチキーを表示させる

2 設定を選ぶ

- DVD設定画面が表示されます。



3 初期設定を選ぶ

- DVD初期設定画面が表示されます。



- 前/次：ページの切替

4 各項目を設定する(右記)

お知らせ

- アスペクト切替および画質調整するには →P.170

■音声ダイナミックレンジについて

ノイズに埋もれてしまわない最小音と音割れしない最大音との音量差を圧縮する機能です。

小さい音声が大量の効果音などで消えてしまわないように設定できます。

設定する項目		設定																			
DVD初期設定 1	音声 音声言語を設定する。 設定する を選ぶ	●「日本語」 ●「英語」 ●「フランス語」 ●「スペイン語」 ●「ドイツ語」 ●「イタリア語」 ●「オランダ語」 ●「その他」	戻る を選ぶ	終了 を選ぶ																	
	字幕 字幕言語を設定する。 設定する を選ぶ	「その他」を選んだ場合 言語コードを入力し、完了を選ぶ  <ul style="list-style-type: none"> ●DVD言語コード一覧表→P.209 ●修正：1文字削除 																			
	ソフトメニュー メニュー言語を設定する。 設定する を選ぶ																				
	マルチアングルマーク マルチアングルマークを表示する/ しないを設定する。	●「す る」...アングル切替が可能となき、再生画面の右上に  が表示されます。 ●「しない」...マルチアングルマークは表示されません。		終了 を選ぶ																	
DVD初期設定 2	視聴制限 再生できるDVDを制限する。 設定する を選ぶ	暗証番号(4桁)を入力し、完了を選ぶ ●修正：1文字削除 ●お買い上げ時は暗証番号が設定されていません。初めて視聴制限を設定するときに入力した4桁の番号が、暗証番号として設定されます。 ●暗証番号を設定していない場合は、画面に「----」と表示されます。 ●暗証番号を設定すると、視聴制限の設定を変更する際に暗証番号を入力する必要があります。 ●暗証番号を忘れた場合には、修正を10回選ぶと暗証番号を解除できます。もう一度設定しなおしてください。	視聴制限レベルを選ぶ <table border="1"> <tr> <td></td> <td>1</td> <td>2~7</td> <td>8</td> </tr> <tr> <td>子供向け</td> <td>○</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>一般向け</td> <td>×</td> <td>○</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>成人向け</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>○</td> </tr> </table> ○....視聴可 ×....視聴不可		1	2~7	8	子供向け	○	○	○	一般向け	×	○	○	成人向け	×	×	○	戻る を選ぶ	終了 を選ぶ
		1	2~7	8																	
子供向け	○	○	○																		
一般向け	×	○	○																		
成人向け	×	×	○																		
音声ダイナミックレンジ 音声ダイナミックレンジ(左記)の圧縮率を設定する。(ドルビーデジタル再生時のみ) 設定する を選ぶ	●「M A X」..... 圧縮しない、映画館そのままのモード。 ●「STANDARD」..... ソフトの制作者が小音量での視聴用として推奨するモード。 ●「MINIMUM」..... 最も圧縮した、音量差の小さいモード。	戻る を選ぶ	終了 を選ぶ																		
映像出力切替 ワイドサイズDVD再生時の映像サイズを設定する。 設定する を選ぶ	●「16:9(ワイド)」... 通常は「16:9(ワイド)」に設定してください。リヤモニターに4:3のモニターを接続した場合は設定を変更してください。 ●「4:3(レターボックス)」 ●「4:3(パンスキャン)」	戻る を選ぶ	終了 を選ぶ																		

CD再生画面



録音を開始する/中止する※¹(P.108)
※¹ デジタル録音モード(P.107)が「SELECT」のときのみ表示

リストから曲を選んで再生する※²

- 1 選曲する**を選ぶ
- (MP3/WMAの場合のみ)
選曲方法を選ぶ
 - **再生中リスト**: 再生中フォルダの曲リストを表示します。(手順4へ)
 - **フォルダ**: フォルダ選択画面を表示します。(手順3へ)
- (MP3/WMAの場合のみ)
リストからフォルダを選ぶ
 - 再生中のフォルダは橙色で表示されます。
 - **再生**▶: フォルダの先頭から再生
- リストから曲を選ぶ**
 - 選んだ曲を再生します。
 - 再生中の曲は橙色で表示されます。
 - [CD]: 録音済の曲に、[HDD]が表示されます。

曲を頭出しする※²

- **◀▶▶▶**を選ぶ
 - ランダム再生(右記)時に◀▶▶▶を選んで、再生中の曲しか頭出しできません。
- 早送り・早戻しする※²**
 - **◀▶▶▶**をタッチし続ける
 - 離すと、通常の再生に戻ります。

MP3/WMA再生画面



曲情報を見る [MP3/WMA]

曲情報を選ぶ

- **情報**を選ぶと、フォルダ情報表示に戻ります。

条件を選んで再生する※² (リピート/ランダム/スキャン)

- 1 設定**を選ぶ
- 再生する条件を選ぶ**
 - 条件はひとつしか選べません。
 - 繰り返し再生(リピート)**
 - すべて: 全曲
 - フォルダ: [MP3/WMA] 再生中フォルダ内の全曲
 - 1 曲: 再生中の曲
 - 順不同に再生(ランダム)**
 - すべて: 全曲
 - フォルダ: [MP3/WMA] 再生中フォルダ内の全曲
 - 曲を探す(スキャン)**
 - 各曲を約10秒ずつ再生します。
 - すべて: [CD] 全曲
 - [MP3/WMA] フォルダの先頭曲
 - フォルダ内: [MP3/WMA] 再生中フォルダ内の全曲

お知らせ

- デジタル録音モード(P.107)を「AUTO」に設定している場合、音楽CDを入れると自動的に本機のHDDに録音されます。(P.107「CDダイレクト録音」)
- MP3/WMAは録音できません。
- 録音音質設定自動表示(P.107)を「する」に設定している場合、音楽CDを入れると録音音質設定画面が表示されます。(P.108)
- ナビゲーション画面表示中にディスクを入れると、ナビゲーション画面を表示したまま再生します。オーディオ画面に切り換えるには、[AUDIO]を押してください。

タイトル表示について

■ CD

- 音楽CDを入れると、本機内の音楽データベース(「Gracenoteデータベース」: Gracenote 音楽認識サービスのデータベースの抜粋)を検索し、情報があれば、アルバム名・曲名などを表示します。
- データベースに一致する情報がない場合、異なるタイトル情報を表示することがあります。そのまま本機のHDDに録音した場合は、手動でタイトル情報を編集してください。(P.116)
 - CD-TEXT情報があるCDを入れた場合、データベースに情報があってもCD-TEXT情報を優先してタイトル表示します。
 - タイトルを表示して再生するまで、しばらく時間がかかる場合があります。

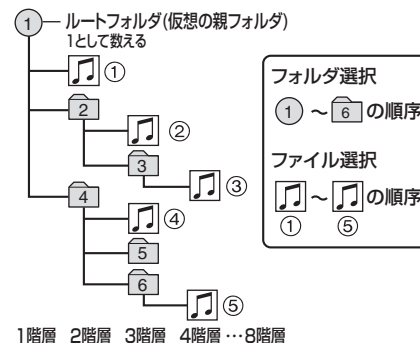
■ MP3/WMA

- 入れたディスクにMP3/WMAのタグ情報がある場合は、**曲情報**を選んでアーティスト名・曲名などを表示できます。
- Gracenoteデータベースを利用したアルバム名・曲名などの検索表示はできません。

MP3/WMA ファイルの再生について

- MP3/WMA ファイルが入ったフォルダのみ表示されます。
- ライティングソフトがフォルダやファイルを並べ替えることがあるため、希望の再生順序にならない場合があります。
- 再生の順序は、同一のCDでも、使用する機器(プレーヤー)により異なる場合があります。
- 使用したライティングソフトやドライブ、またはその組み合わせにより、正常な再生や文字の表示ができない場合があります。

階層と再生順序のイメージ



ラジオ画面

⌚: 1秒以上押す



お知らせ

- AMステレオには対応していません。

リストから選局する

状態に応じてリストの内容が異なります。

- エリアモード時:
自車位置の地域に応じた放送局
- エリアモード解除時:
オートプリセット・プリセットメモリーで記憶させた放送局

放送局を選ぶ

- リモコン操作:
◀▶ 前/次の放送局を選ぶ

受信中の放送局を手動でリストに記憶させる (プリセットメモリー)

- 準備
● 記憶させたい放送局を手動で選局してください。(右記)

記憶させたい枠(番号)を1秒以上タッチする

- リモコン操作:
⌚ 選んだ枠(番号)の決定
- 受信中の放送局が、選んだ枠(番号)に記憶されます。
- エリアモード時はプリセットメモリーできません。
- 地域によっては、リストに実際とは異なる放送局名や、周波数のみが表示される場合があります。

FM/AMを切り換える

BANDを選ぶ

- リモコン操作:
▲ ▼
● 選ぶごとにFM/AMが切り換わります。

AMの交通情報を聞く

(お買い上げ時の設定:
AM 1620 kHz)

交通情報を選ぶ

- 交通情報画面が表示されます。



- 交通情報をOFFにするには、他のオーディオを選んでください。(P.97)

交通情報の周波数を変更するには

1 ラジオ画面から

BANDを選びAMラジオに切り換える

- 選ぶごとにFM/AMが切り換わります。

2 変更したい周波数に合わせる(右記)

3 交通情報を1秒以上タッチする

- 受信している放送局の周波数が記憶されます。

自車位置に応じて放送局を切り換える (エリアモード)

エリアを選ぶ

- 自車位置の地域に応じた放送局のリストが表示されます。

エリアモードを解除するには

エリアモード中に

- エリアモードを選ぶ
- オートプリセットしても、エリアモードは解除されます。

周波数を選ぶ (手動選局)

< > を選ぶ

- 1秒以上タッチすると選局を始め、受信すると止まります。(シーク選局)

放送局を自動的に記憶させる (オートプリセット)

オートを1秒以上タッチする

- リモコン操作:
⌚ ▶▶
- 受信状態の良い放送局から順に上書きされ、記憶されます。(FM/AM各6局まで)
- 受信できる放送局が見つからないときは、1周してもとの放送局に戻ります。
- オートプリセット中に「オート」を選ぶと、オートプリセットを中止します。

SDオーディオに切り換えるには→P.97「オーディオの種類を選ぶ」

準備

- SDオーディオが録音されたSDメモリーカードを本機に入れてください。
- SDオーディオを録音するには、別売のSD JukeboxまたはSDオーディオ対応ミニコンポ(D-dockなど)や、HDDレコーダー(ディーガなど)が必要です。
- 本機で再生できるファイル形式について→P.193

SDオーディオ再生画面



曲を頭出しする

◀▶ を選ぶ

- ランダム再生(右記)時に◀▶を選んでも、再生中の曲しか頭出しできません。
- 早送り・早戻しはできません。

条件を選んで再生する (リピート/ランダム/スキャン)

1 設定を選ぶ

- 再生する条件を選ぶ
- 条件はひとつしか選べません。

2 再生する条件を選ぶ

- すべて: 全曲^{*1}
- 1曲: 再生中の曲

繰り返し再生 (リピート)

- すべて: 全曲^{*1}

順不同に再生 (ランダム)

- すべて: 全曲^{*1}

曲を探す(スキャン)

- 各曲を約10秒ずつ再生します。
- すべて: 全曲^{*1}

^{*1} 1プレイリスト再生中は、再生中のプレイリスト内の全曲が対象となります。

選曲方法を選んで再生する

1 選曲するを選ぶ

2 選曲方法を選んで再生する

再生中リストから選ぶ

- 1 再生中リストを選ぶ
- 2 リストから曲を選ぶ

全曲を再生する

全曲再生を選ぶ

プレイリストから探す

1 プレイリストを選ぶ

2 プレイリストを選ぶ

- 再生▶:
選んだプレイリストの先頭から再生

3 曲を選ぶ

SDビデオ (SD-Video) を再生する

SDビデオに切り換えるには
→P.97「オーディオの種類を選ぶ」

準備

- ビデオファイルが保存されたSDメモリーカードを本機に入れてください。(P.31)
- 本機で再生できるファイル形式について→P.193

再生リスト



再生画面にタッチすると、
タッチキーが表示されます。タッチキー
消去



アスペクト切替/
画質調整する→P.170

動画を再生する

1 リストから動画を選ぶ

- 分割された動画は、1分割ごとにリスト表示されます。
- ドラッグ/フリックによるスクロールはできません。

2 再生開始 を選ぶ

- 約20秒間何も操作しないと、自動的に再生が開始されます。
- プレビューをタッチしても再生が開始されます。

動画の詳細情報を見る

1 リストから動画を選ぶ

2 詳細情報 を選ぶ

- 動画の詳細情報が表示されます。



一時停止する

再生中に

- 一時停止ボタン を選ぶと、再生を開始します。

音声/字幕を切り換える

1 音声/字幕 を選ぶ

- 二重音声：音声多重放送のときに選択できます。
- 字幕：字幕言語が複数あるときに選択できます。

お知らせ

- 本機は、チャプターマークには対応していません。
- 録画機器が指定する再生順どおりに再生されない場合があります。
- 録画された番組名の文字が正常に表示されない場合があります。
- 一部の漢字は、他とは異なる形状で表示される場合があります。
- 録画については、録画機器の取扱説明書をお読みください。

再生を停止して再生リストに戻る

■/リスト を選ぶ

- 再生を停止し、再生リストに戻ります。

動画を頭出しする

◀▶ を選ぶ

早送り・早戻しする

◀▶ をタッチし続ける

- 指を離すと、通常の再生に戻ります。

BLUETOOTH Audio を再生する

BLUETOOTH Audioに切り換えるには
→P.97「オーディオの種類を選ぶ」

BLUETOOTH Audio機器を本機に登録する

BLUETOOTH Audio機器は、5台まで登録できます。

- すでに5台登録しているときは、不要な登録データを削除してください。(P.133)
- BLUETOOTHについて→P.142、196
- 本書では、BLUETOOTH Audio機器の操作を、docomo P-05Cを例に説明しています。
- 操作方法は機器によって異なります。詳しくは、BLUETOOTH Audio機器の説明書をご覧ください。

BLUETOOTH Audio機器を本機に登録する

1 本機での操作

オーディオ選択タッチキー (P.32) から Bluetooth® Audio を選ぶ

- Bluetooth® Audio再生画面が表示されます。

2 設定 を選ぶ

- BLUETOOTH Audio設定画面が表示されます。



3 BLUETOOTH Audio機器設定 を選ぶ

4 登録 を選ぶ

- BLUETOOTH Audio接続中画面が表示されます。



スマートフォンの機器登録

操作方法は機器によって異なりますので、お手持ちのスマートフォンの説明書をご覧ください。

- ハンズフリーとBluetooth® Audioが同時に登録される場合があります。

BLUETOOTH Audio機器(携帯電話など)に本機を機器登録する

5 BLUETOOTH Audio機器での操作

周辺のBLUETOOTH対応機器を探す

- 1 (MENU) を押す
 - 2 便利ツール を選ぶ
 - 3 Bluetooth を選ぶ
 - 4 ●新規で登録する場合
新規機器登録 を選ぶ
●「Strada」が登録済みの場合
登録機器リスト を選び、Strada を選ぶ(手順8へ)
 - 5 OK を選ぶ
- 周辺のBLUETOOTH対応機器が検索され、登録機器リストが表示されます。

6 BLUETOOTH Audio機器に登録する機器(本機)を選ぶ

- 1 Strada を選ぶ
- 2 YES を選ぶ

7 (BLUETOOTHパスキー入力画面が表示された場合のみ) 本機のBLUETOOTHパスキー (P.134) をBLUETOOTH Audio機器に入力する

- 1 BLUETOOTHパスキーを入力する
 - 2 確定 を選ぶ (お買い上げ時の設定: 0000)
- BLUETOOTH対応機器によっては、この操作は必要ありません。

8 本機とBLUETOOTH Audio機器を接続する

- 1 オーディオ を選ぶ
- 2 NO を選ぶ

- 本機に機器登録完了のメッセージが表示されるまで、本機を操作したり、電源を切ったりしないでください。

本機とBLUETOOTH Audio機器を接続する

準備

● BLUETOOTH Audio機器を本機に登録してください。(P.131)
自動接続に対応しているBLUETOOTH Audio機器を、オーディオの接続待機状態に設定している場合、本機のオーディオをBLUETOOTH Audioに切り換えると接続を自動的に開始します。

■ 接続までの流れ



本機の自動接続をONにする

準備

● BLUETOOTH Audio機器をオーディオの接続待機状態にしてください。

1 Bluetooth® Audio再生画面(P.131)から**設定**を選ぶ

2 **自動接続**を選ぶ

- 自動的に接続できるようになります。
- 再度選ぶと自動接続をOFFにします。
- BLUETOOTH Audio機器を接続した状態で本機の電源を切ると、次回起動時に、本機はBLUETOOTH Audio機器との接続を自動的に開始します。

お知らせ

- BLUETOOTH Audioとハンズフリーで接続する機器が異なる場合、下記の制限があります。
 - ・BLUETOOTH Audioとハンズフリーの同時接続はできません。
 - ・オーディオがBLUETOOTH Audio以外の状態で本機の電源を切った場合は、次回起動時に本機とBLUETOOTH Audio機器は自動的に接続されません。

本機と手動で接続する

1 本機での操作

Bluetooth® Audio再生画面(P.131)から**接続**を選ぶ

2 BLUETOOTH Audio機器での操作

本機と接続する

- 1 (MENU)を押す
- 2 便利ツールを選ぶ
- 3 Bluetoothを選ぶ
- 4 登録機器リストを選ぶ
- 5 Stradaを選ぶ
- 6 オーディオを選ぶ
 - ・本機とBLUETOOTH Audio機器が接続されます。
- 7 NOを選ぶ

3 再生する(例:ミュージックプレーヤー)

- 1 (MENU)を押す
- 2 データBOXを選ぶ
- 3 MUSICを選ぶ
- 4 ミュージックプレーヤーを選ぶ
 - 前回再生した曲の情報がある場合
自動的に再生が開始されます。
 - ・曲を変更したいとき→手順5へ
 - 前回再生した曲の情報がない場合
→手順6へ
- 5 (MENU)を押し、プレーヤーメニューを選ぶ
- 6 再生する項目を選ぶ
- 7 再生する曲を選ぶ
 - 選んだ曲を再生します。

BLUETOOTH Audioの基本操作

Bluetooth® Audio再生画面



手でBLUETOOTH Audio機器と接続する(未接続時のみ)(P.132)
BLUETOOTH Audio設定画面を表示(P.131)

一時停止する

再生中に**▶/||**を選ぶ

- 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。

接続するBLUETOOTH Audio機器を変更する

1 本機での操作

Bluetooth® Audio再生画面(上記)から**設定**を選ぶ

- BLUETOOTH Audio設定画面が表示されます。

2 BLUETOOTH Audio接続機器選択を選ぶ

3 接続したいBLUETOOTH Audio機器を選び、完了を選ぶ

- 接続中のBLUETOOTH Audio機器には、**BLUETOOTH**と表示されます。
- **詳細情報表示**: 選んだBLUETOOTH Audio機器の詳細情報を表示

4 BLUETOOTH Audio機器での操作

P.132「本機と手動で接続する」手順2~3を行い、BLUETOOTH Audio機器を本機に接続する

曲を頭出しする

◀◀▶▶を選ぶ

早送り・早戻しする

◀◀▶▶をタッチし続ける

- 離すと、通常の再生に戻ります。

お知らせ

- docomo P-05Cでは早送り・早戻しはできません。
- 接続するBLUETOOTH Audio機器によっては、本機から再生/一時停止、早送り・早戻し、頭出しができない場合があります。そのときは、BLUETOOTH Audio機器側で操作してください。

BLUETOOTH Audio機器の登録データを削除する

一度削除するとともに戻せません。(再度登録が必要になります。)削除は十分確認のうえ行ってください。

1 BLUETOOTH Audio設定画面(左記)から**BLUETOOTH Audio機器設定**を選ぶ

2 **削除**を選ぶ

3 削除したいBLUETOOTH Audio機器を選び、**完了**を選ぶ

- **詳細情報表示**: 選んだBLUETOOTH Audio機器の詳細情報を表示

4 **はい**を選ぶ

- 削除完了のメッセージが表示されるまで、本機の電源を切らないでください。登録データの削除が正しく行われない場合があります。

お知らせ

- ハンズフリーの登録データは、上記の操作では削除されません。(P.145「携帯電話の登録データを削除する」)

BLUETOOTHパスキーを変更する

■ BLUETOOTHパスキーとは

BLUETOOTHによる接続を他人に許可なく使われないためのパスワードです。接続機器によっては、あらかじめ設定されていて変更できない場合や、接続時にBLUETOOTHパスキーが不要な場合があります。

- ハンズフリー用のBLUETOOTHパスキー(P.145)とは別に設定が必要です。

1 BLUETOOTH Audio設定画面(P.131)から **BLUETOOTH Audio機器設定** を選ぶ

2 **変更** を選ぶ

3 BLUETOOTHパスキー(4～8桁の数字)を入力し、**完了** を選ぶ

- 修正: 1文字削除
- お買い上げ時の設定: 0000

適合機種(2012年2月現在)

Made for

iPod touch 第4世代	iPod nano 第6世代	iPhone 4S
iPod touch 第3世代	iPod nano 第5世代	iPhone 4
iPod touch 第2世代	iPod nano 第4世代	iPhone 3GS
iPod touch 第1世代	iPod nano 第3世代	iPhone 3G
iPod classic	iPod nano 第2世代	
iPod 第5世代	iPod nano 第1世代	

最新の適合機種および接続情報については、当社サイト(<http://panasonic.co.jp/car/>)をご覧ください。

お願い

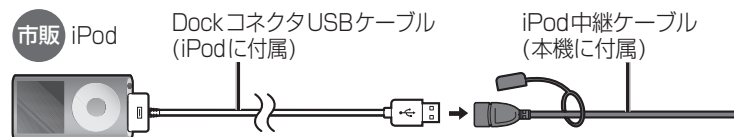
- iPod中継ケーブルにiPod以外のUSB機器を接続しないでください。
- iPodのリモコンやヘッドホンなど、iPodのアクセサリを接続しないでください。正しく動作しない場合があります。
- オーディオがiPodのときに、iPodの取り付け・取り外しをしないでください。雑音が発生し、スピーカーを破損する原因となる場合があります。
- コネクタは確実に差し込んでください。
- iPodの取り付け・取り外しをするときにケーブルを引っ張らないでください。
- 運転中にiPodが動かないようにホルダーなどでしっかりと固定してください。
- iPodを車内の温度が高くなる場所に放置しないでください。
- ACCをOFFにしたあとは、必ずiPodを取り外してください。iPodの電源が切れず、iPodの電池を消耗することがあります。
- iPodが正しく動作しないときは、本機からiPodを取り外してリセットし、再度接続してください。
- iPodに楽曲を追加する操作を行う場合は、iPodを本機から外してください。
- iPodの説明書もよくお読みください。

お知らせ

- 本機と接続中、iPodは充電されます。
- iPodの動作状態によっては、充電に時間がかかる、または充電されない場合があります。

iPodを本機に接続する

- 接続中は、iPod本体では操作できません。
- iPodは、電源を入れたうえで本機と接続してください。



iPodの基本操作

iPod再生画面



アルバムアートワーク

- アルバムアートワーク表示サイズは、iPodの仕様により異なります。
- アートワークのデータを取得中に、再生時間の表示が止まる場合があります。
- 下記の画像が表示される場合があります。

- ・接続したiPod内にアルバムアートワークがない
- ・アルバムアートワーク取得中
- ・本機でアルバムアートワークを表示できないiPodを接続している

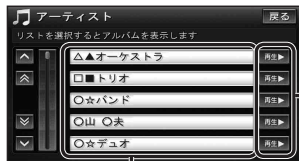
選曲方法を選んで再生する

- 1 **選曲する** を選ぶ
- 2 **選曲方法** を選ぶ
 - 再生中リスト
 - アーティスト
 - アルバム
 - プレイリスト
 - 曲
 - Podcast*1
- 3 **再生中リスト/曲から再生する場合**
曲/エピソードを選ぶ

アーティスト/アルバム/プレイリスト/
Podcastから再生する場合

再生したい項目の**再生▶**を選ぶ

例：アーティスト



選ぶと、下の階層を表示

- 曲またはエピソードのリストが表示されたら、項目を選ぶと再生します。
- ALL: 表示している全項目の、下の階層を表示

選ぶと、項目の先頭から再生を開始

条件を選んで再生する
(リピート/シャッフル)

- 1 **設定** を選ぶ
 - 2 **再生する条件** を選ぶ
 - 再生条件はひとつしか選べません。
- 繰り返し再生(リピート)**
- すべて: 再生中のリスト*2内の全曲
1 曲: 再生中の曲
- 順不同に再生(シャッフル)**
- 曲: 再生中のリスト*2内の全曲
アルバム: 全てのアルバム(アルバム単位でシャッフル)
- シャッフル方法は、iPodの仕様により準じます。

*2 リストの内容は、選曲のしかた(「プレイリスト」「アーティスト」など)によって異なります。(左記)

- 一時停止する
- 再生中に**▶||**を選ぶ
 - 再度選ぶと、通常の再生に戻ります。
- 曲を頭出しする
- ◀▶**を選ぶ
- 早送り・早戻しする
- ◀▶**をタッチし続ける
 - 離すと、通常の再生に戻ります。

静止画データを本機に保存する

デジタルカメラなどで撮影した静止画データ(JPEG/BMPファイル)を、本機のHDDに保存できます。(ひとつのフォルダに最大100枚)

- 準備**
- 静止画が保存されたSDメモリーカードを本機に入れてください。
 - ・ファイル形式について→P.193

ファイルを選んで保存する

- 1 **オーディオ選択タッチキー**(P.32)から**PHOTO**を選ぶ
- 2 **SDメモリーカード** を選ぶ
 - SDメモリーカードファイル画面が表示されます。
 - SDメモリーカード内のフォルダ/ファイル数が多いときは、表示に時間がかかる場合があります。
- 3 **HDDに保存** を選ぶ
- 4 **保存するファイル**を選び、**保存**を選ぶ
 - 複数のファイルを選ぶこともできます。(再度選ぶと解除されます。)
- 5 **保存先のフォルダ**を選ぶ
 - 初めて静止画を保存する場合は、自動的にフォルダが作成されるため、この操作は必要ありません。
 - サンプル/オープニングフォルダには保存できません。
- 6 **はい** を選ぶ

静止画を再生する

HDD内の静止画を見る場合

- 1 **オーディオ選択タッチキー**(P.32)から**PHOTO**を選ぶ
- 2 **HDD** を選ぶ
- 3 **フォルダ** を選ぶ
- 4 **ファイル** を選ぶ
 - PHOTO画面が表示されます。(P.138)

一括保存する

- 1 **データメニュー**(P.33)から**SD読み/保存**を選ぶ
 - SDメモリーカード読み込み/保存画面が表示されます。
- 2 **SDメモリーカードから読み込む** を選ぶ
- 3 **PHOTO一括保存** を選ぶ
 - 新規フォルダが作成され、SDメモリーカードの直下(ルートフォルダ)にあるDCIMフォルダ内(サブフォルダ含む)のJPEGファイル・BMPファイルが保存されます。
 - 保存中に**PHOTO一括保存中止** を選ぶと、保存を中止します。
 - ・保存が完了すると、タッチキーが**PHOTO一括保存**から**PHOTO一括保存**に切り換わります。
- 4 (保存できる枚数を越えた場合のみ)**はい** を選ぶ

お知らせ

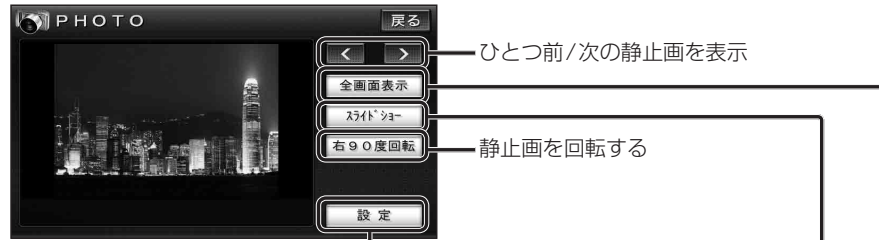
●PHOTO画面で表示させた静止画を保存することもできます。(P.138)

SDメモリーカード内の静止画を見る場合

- 1 **オーディオ選択タッチキー**(P.32)から**PHOTO**を選ぶ
- 2 **SDメモリーカード** を選ぶ
 - SDメモリーカードファイル画面が表示されます。
 - DCIMフォルダに保存された静止画を、フォルダの構成に関係なく、日付の新しい順に最大200枚まで表示します。
- 3 **ファイル** を選ぶ
 - PHOTO画面が表示されます。(P.138)

PHOTOの基本操作

PHOTO画面



表示している静止画を
オープニングに設定する

- 1 **設定** を選ぶ
- 2 **オープニング画像にする** を選ぶ
- 3 **表示のさせかた** を選び、**登録** を選ぶ
 - **上下合わせ** : 静止画の縦横比はそのまま、上下幅を画面サイズに合わせて表示
 - **左右合わせ** : 静止画の縦横比はそのまま、左右幅を画面サイズに合わせて表示
 - **右90度回転** : 静止画を右に90度回転
 - **表示時間変更** : 選ぶごとに表示時間を変更
5秒 → 7秒 → 10秒
- 4 **はい** を選ぶ

お知らせ

- お買い上げ時の画面に戻すには、フォルダ画面 (P.139) からオープニングフォルダを選び、静止画を選びなおしてオープニング画像に設定 (上記) してください。

表示している静止画を本機に保存する
(SDメモリーカード内の静止画のみ)

- 1 **設定** を選ぶ
- 2 **HDDに保存する** を選ぶ
(P.137「ファイルを選んで保存する」手順5へ)

表示している静止画を消去する
(HDD内の静止画のみ)

- 1 **設定** を選ぶ
- 2 **消去する** を選ぶ
- 3 **はい** を選ぶ

スライドショーを楽しむ

スライドショー を選ぶ

- スライドショーを開始します。
- 表示中の静止画から、撮影日時の昇順に再生します。最新の静止画が再生されると、撮影日時の一番古い静止画に戻り、一巡するとPHOTO画面が表示されます。
- SDメモリーカード内の静止画表示中に開始すると、SDメモリーカード内の静止画が再生されます。
- HDD内の静止画表示中に開始すると、その静止画の入ったフォルダが再生されます。
- 静止画の容量が大きい場合、表示されるまで時間がかかる場合があります。
- スライドショーの再生時間は変更できません。
- 終了するには、画面をタッチするか、リモコンの **戻る** または **戻る** を押してください。

静止画を全画面表示する

全画面表示 を選ぶ

- リモコンの **戻る** を押して前/次の静止画を表示できます。
- 終了するには、画面をタッチするか、リモコンの **戻る** または **戻る** を押してください。

フォルダの名称を変更する

(HDD内の静止画のみ)

- 1 オーディオ選択タッチキー (P.32) から **PHOTO** を選ぶ
- 2 **HDD** を選ぶ
 - フォルダ画面が表示されます。
- 3 **編集** を選ぶ
- 4 **名称を変更する** を選ぶ
- 5 **名称を変更したいフォルダ** を選ぶ
- 6 **名称** を入力し、**完了** を選ぶ
 - 全角6文字 (半角12文字) まで
 - 文字入力のしかた → P.188

静止画を移動する

(HDD内の静止画のみ)

- 1 フォルダ画面 (上記) から **フォルダ** を選ぶ
- 2 **編集** を選ぶ
- 3 **移動する** を選ぶ
- 4 **移動したいファイル** を選び、**移動** を選ぶ
 - 複数のファイルを選ぶこともできます。(再度選ぶと、解除されます。)
- 5 **移動先のフォルダ** を選ぶ
 - サンプル/オープニングフォルダには移動できません。
 - ひとつのフォルダに最大100枚まで移動可能です。
- 6 **はい** を選ぶ

静止画データを消去する

(HDD内の静止画のみ)

- 一度消去するとともに戻せません。消去は十分確認のうえ行ってください。
- 消去中はエンジンを切らないでください。本機が正しく動作しなくなる場合があります。

フォルダを選んで消去する

- 1 フォルダ画面 (左記) から **編集** を選ぶ
- 2 **消去する** を選ぶ
- 3 **消去したいフォルダ** を選び、**消去** を選ぶ
 - 複数のフォルダを選ぶこともできます。(再度選ぶと解除されます。)
 - **全消去** : HDD内の全ての静止画データを消去
- 4 **はい** を選ぶ

ファイルを選んで消去する

- 1 フォルダ画面 (左記) から **フォルダ** を選ぶ
- 2 **編集** を選ぶ
- 3 **消去する** を選ぶ
- 4 **消去したいファイル** を選び、**消去** を選ぶ
 - 複数のファイルを選ぶこともできます。(再度選ぶと解除されます。)
- 5 **はい** を選ぶ

お知らせ

- PHOTO画面からも消去できます。(P.138)
- サンプル/オープニングフォルダの静止画データは消去できません。

現在地画面にオーディオ映像を表示する

現在地画面に、デジタルTV、DVD、SDビデオ、VTRの映像を表示できます。

準備

- タッチキーを表示(P.35)してください。
(リモコンでは、この操作は必要ありません。)

1 地図画面から「ビュー」を選ぶ



2 ナビ+映像 を選ぶ

3 表示のしかたを選ぶ

- 画面表示例→下記
- 「表示しない」を選ぶと、オーディオ映像は表示されません。
(お買い上げ時の設定: 「表示しない」)

お知らせ

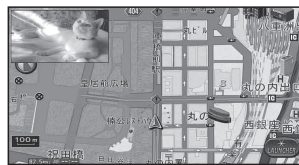
- 走行中は、オーディオ映像は消去され、現在地画面のみ表示されます。
- オーディオ映像を表示させるときは、安全な場所に停車して、サイドブレーキを引いてご覧ください。
- 拡大図(P.44)表示中や地図モード画面(P.48)では、オーディオ映像は表示されません。
- 案内図(P.43)表示中は、オーディオの「1/2画面左」、「1/2画面右」は表示されません。

画面表示例

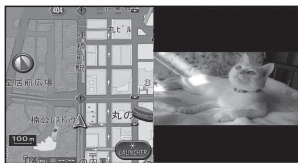
1/2画面左



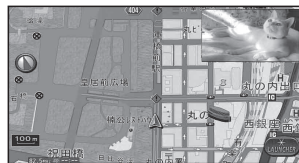
小画面左



1/2画面右



小画面右



小画面下



お知らせ

- オーディオ映像を16:9で表示します。(4:3の画面は左右に引き伸ばされます。)
- 現在地画面にオーディオ映像を表示中も、オーディオの音量を調整できます。
(他の操作はできません。)
- オーディオ映像が表示されている部分をタッチすると、映像が全画面表示され、オーディオの操作ができます。
- 「1/2画面左」「1/2画面右」に設定後、「小画面左」「小画面右」「小画面下」「表示しない」を選ぶと、地図は2画面になります。手動で1画面に戻してください。(P.54)